



🔥 全国で山火事が発生しています 🔥

～かけがえのない貴重な森林が失われています。～

昨年から、全国各地において山火事が多発しています。

比較的大きな火災としては、令和3年2月21日に、栃木県足利市において林野被害167ヘクタール、令和3年2月23日に東京都青梅市において林野被害9.5ヘクタール、今年に入ってから、令和4年2月26日に北九州市、2月28日に兵庫県加古川市において山火事が発生しています。

なお、毎年3月1日～7日は、全国山火事予防運動期間となっていますので、この機会に山火事について考えてみてください。



政府インターネットテレビで全国山火事予防運動について紹介しておりますので、是非ご覧ください。

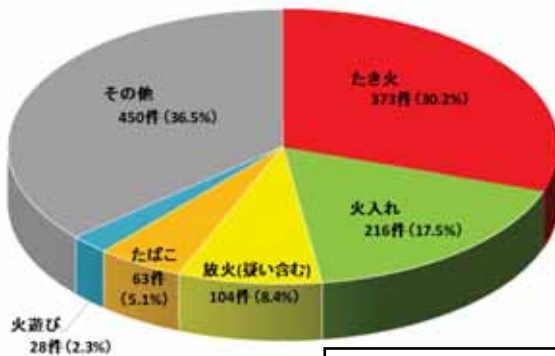
(<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg20277.html?nt=1>)

【何で？】

例年3月～5月は、山火事の発生が特に多くなっています。これは、空気が乾燥し強風が吹く時期であり、森林内に落ち葉が積もって燃えやすい状態になっていることが考えられます。

【原因は？】

発生した林野火災のうち、原因が明らかなものについてみれば、「たき火」が30.2%で最も多く、次いで「火入れ」、「放火(疑い含む)」、「たばこ」となっています。



多くは、人のちょっとした火の取扱いの不注意で発生しています。



原因別出火件数（平成27年～令和元年の平均）資料：林野庁

【注意することは？】

- ・ 枯草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしない。
- ・ たき火等火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火する。
- ・ 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしない。
- ・ たばこは、指定された場所で。吸い殻は必ず消す。投げ捨てない。
- ・ 火遊びはしない。

☆何よりも1人ひとりが森林の大切さを認識し、

防火意識を高めることが大切です。

貴重な森林を山火事から守るため、

皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

筑紫野太宰府消防本部 警防課

092-924-5642

